

4月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/04/02 (月)	東京は早朝に発表された日銀短観が悪化したことを受けて円安の展開。ただ118円台には定着出来ず。欧米は発表されたISM製造業指数の悪化もありドル売り優勢。しかしSL連銀総裁発言もあり下げ渋り。	・3月調査日銀短観23 ・米財務省が今月13日にワシントンでG7開催を明言 ・「米兵が中東で拘束された」との噂あり ・3月ISM製造業指数50.9	・カナダ財務相「ワシントンG7では円についても議論する見通し」 ・SL連銀総裁「米経済は住宅市場の不振にもかかわらず堅調」	117.75 118.08 117.50 117.85	157.24 157.64 156.95 157.51	24H 寄付 安値 高値 終値
07/04/03 (火)	東京は新年度以降の外債投資拡大思惑などもあり円安継続。一本調子で1円以上の円安進行となった。欧米はイン情勢の軟化で地政学リスクが後退、ドルの買い材料となっていた。またボンドも強含み。	・尾身財務相搭乗の飛行機がエンジントラブルで緊急着陸 ・2月の米中古住宅成約指数0.7% ・英国とイランが英兵拘束問題について「外交的解決目指す」との姿勢示す	・平野元日銀理事「G7で円が狙い撃ちにされる事態は考え難い」	117.85 118.99 117.73 118.96	157.59 158.85 157.36 158.57	24H 寄付 安値 高値 終値
07/04/04 (水)	東京はカナダ財務相の変節もあり円売り優勢。オプションリガーを巻き込み119円台へ。欧米は4年ぶりの水準に落ち込んだISM非製造業受注を受けてドル売り優勢。ただ対円では下値限定的。	・豪中銀が金利据え置き発表 ・アラブ系の新聞「米軍のイラン攻撃が間近」 ・3月のADP全米雇用報告10.6万人、同ISM非製造業景気指数52.4、2月の米製造業受注1.0%	・カナダ財務相「G7で円は特別なイシューではない」 ・マーン中銀総裁「湾岸諸国は米ドルペッグ制の維持で非公式に合意」 ・イラン大統領「拘束されている15人の英兵に恩赦」	118.88 119.09 118.56 118.73	158.68 158.96 158.10 158.72	24H 寄付 安値 高値 終値
07/04/05 (木)	東京はイースターや翌日の米雇用統計発表を控えやや様子見ムード。狭いレンジ内での値動きに終始。欧米は中国の政策金利引き上げを受けて一時円高に振れるも影響限定的。その後は採み合い。	・中国人民銀行が預金準備率を16日から0.5%引き上げ ・英中銀が金利の据え置き決定	・藤井財務次官「G7では幅広い世界経済の諸問題を議論」 ・ランダ中銀総裁「堅調なユーロ圏経済はインフレリスク」	118.68 119.00 118.43 118.74	158.73 159.44 158.39 159.44	24H 寄付 安値 高値 終値
07/04/06 (金)	主要なアジア、オセアニア市場の休場で東京は動意乏しく終日閑散。ドル/円は20ポイント強と膠着。欧米は米雇用統計が予想を上回る好数字となったことを受けドルが一時急騰。そのまま高値引け。	・3月の米失業率4.4%、同非農業者雇用数18.0万人、なお後者は過去2ヵ月分も上方修正される ・イースターで主要市場休場	・尾身財務相「G7では円について特別に討議するというわけではない」	118.72 119.39 118.69 119.27	159.39 159.68 159.24 159.55	24H 寄付 安値 高値 終値
07/04/09 (月)	東京は小動き。前週末同様イースターで休場の先が少なく、参加者乏しい。終日を通して膠着相場。欧米も値動き限定的。USTRに絡む報道から米保護主義の懸念が台頭したものの円買いには繋がらず。	・3月景気ウォッチャー調査現状50.8 ・米USTRがWTOに中国の著作権侵害などに関して訴状提出を明言 ・イースターで主要市場休場	・藤井財務次官「G7で為替はいつでもおり総合的視点から議論」 ・ロシア大統領「ルブルの上昇に注意を払う必要あり」	119.38 119.39 119.19 119.32	159.59 159.60 159.26 159.35	24H 寄付 安値 高値 終値
07/04/10 (火)	東京は米住宅市場への不安から一時ドル安が進行するも続かず。日銀総裁発言などもありドル底堅い。欧米はG7について見方が分かれるものの米保護主義懸念などからやや円買い優勢ムード。	・日銀が金利の据え置き発表 ・米サブプライムローン会社に破綻の噂 ・IMF報告書「あらゆる資産クラスのリテリテリは上昇するリスクがあり、これがキャリートレードの手仕舞いや円の急騰を招く可能性」	・日銀総裁「円キャリ取りが急速に復活する雰囲気はない」 ・独財務省筋「G7では為替政策について協議」	119.28 119.30 118.76 119.05	159.27 160.10 159.05 160.00	24H 寄付 安値 高値 終値
07/04/11 (水)	東京は予想を大きく下回る機械受注を嫌気した円売り活発。ただユーロ債償還の円転思惑が下支え。欧米は英本国送金法検討の報道からボンドが強含み。一方G7形骸化思惑から加入中心の円安も続く。	・2月機械受注 5.2% ・2月の経常収支2兆4175億円、同貿易収支1兆1189億円 ・中国人民銀総裁と同国財務相、また独財務相のG7欠席が明らかに	・英FT紙「英国が英国版本国送金法の導入を検討」 ・ジョンソンIMF調査局長「キャリートレードは波乱要因とならず」 ・FOMC議事録「一段の金利引き締めが必要となる可能性」	119.17 119.55 118.88 119.40	160.03 160.43 159.58 160.37	24H 寄付 安値 高値 終値
07/04/12 (木)	東京は円が済まない。加入ではユーロ債の償還とされる円買いも散見されるが、円安の流れは変わらず。欧米はユーロが小高い。この日の利上げは見送られたものの追加利上げ思惑残り、ユーロの支援要因に。	・3月国内物価指数0.3% ・韓国が金利据え置き決定 ・ECBが金利据え置き決定 ・南アが金利据え置き発表 ・3月の米輸入物価1.7% ・G7でスイスフラン安議論の噂	・温家宝中国首相「人民元は常に上昇、今後も為替政策を堅持」 ・ECB総裁「金利政策については6月の見直しを変えるようなことは言わない」「円は経済ファンダメンタルズに沿うべき」	119.33 119.52 118.80 119.17	160.34 160.87 160.18 160.66	24H 寄付 安値 高値 終値
07/04/13 (金)	東京はドルの独歩安。前日の流れからユーロ買い優勢。またG7に対する不安から円買いも断続的に。欧米はG7声明に変更がないとの見方や発表された米経済指標が悪く、「ドル安」「円安」の様相。	・2月の米貿易収支 584.4億ドル、対中184.34億ドル、対70.60億ドル ・3月の米PPIは1.0%、同コアPPIは±0%、4月シカゴ大消費者信頼感指数85.3	・英財務相「円キャリートレードはG7の主要議題ではない」 ・G7関係筋「G7声明で為替に関する文言の変更はない」 ・メルケル首相「為替に関しては2月のワシントンG7声明を繰り返す」	119.00 119.58 118.22 119.25	160.50 161.46 159.90 161.35	24H 寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで